

### 平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	石製模造品と神坂峠プロジェクト
事業主体 (連絡先)	阿智村 阿智村教育委員会社会教育係
事業区分	教育文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	414,989 円

#### 事業内容

神坂峠は都と東国を結ぶ東山道の最大の難所で、古代・中世には盛んに旅人が行き来した。近年発掘調査が行われ、石製模造品が大量に出土した。峠は国史跡に、出土品のうちの主なものについては県宝になっている。

本事業では長野県の歴史を語るうえで欠かせない神坂峠と石製模造品の魅力を伝え、神坂峠の重要性を広く周知した。

- ・神坂峠出土品の展示 (11月10日～12月24日)  
神坂峠から出土した石製模造品を中心に展示会を開催。
- ・石製模造品をアレンジしたお菓子作り (11月17日)  
子育てグループなどと協力してグミ・ゼリー作りを実施。
- ・歴史講演会&講談「神坂峠発掘物語」 (12月15日)  
講談では50年前に行われた神坂峠の発掘の様子について、歴史講演会では専門家から研究状況を話してもらった。



【 講演の様子 】

#### 【目標・ねらい】

- ①神坂峠と石製模造品を広く周知する
- ②神坂峠と石製模造品について理解を深めてもらう

#### 事業効果

歴史講談及び講演会により、石製模造品から見える古代史の現状を参加者へ伝え、より深い理解を促した。また、公民館ロビー展示や親子を対象としたお菓子作りワークショップを実施することで、歴史ファンだけでなく一般の人々にも神坂峠と石製模造品の魅力を訴えることができた。

これらの取組は、それぞれ南信州新聞等で報道され、神坂峠の重要性について村内外へ広く周知を図ることができた。

#### ※自己評価【B】

##### 【理由】

イベントへの参加者が少なく、周知方法に課題を残した。一方で、参加者のアンケートからは概ね満足いただけただけの結果となったほか、新聞記事にも多く取り上げていただき、村内外に魅力を発信することができた。

#### 今後の取り組み

展示や講演会のみならず、親子を対象としたお菓子作りのワークショップや広く村民に向けた講談を実施し、阿智村の宝である神坂峠や出土した石製模造品を周知できた。未実施となった現地見学会などを再計画するなど、神坂峠を活用した地域づくりに発展させていきたい。

特に、お菓子作りや講談を使った文化財周知方法は県下でも珍しい取り組みであり、幅広い層の方が参加していただいた。文化財を活用した地域づくりに生かしていきたい。